



聴くことで
救える命がある。

愛媛県の 自殺の現状について

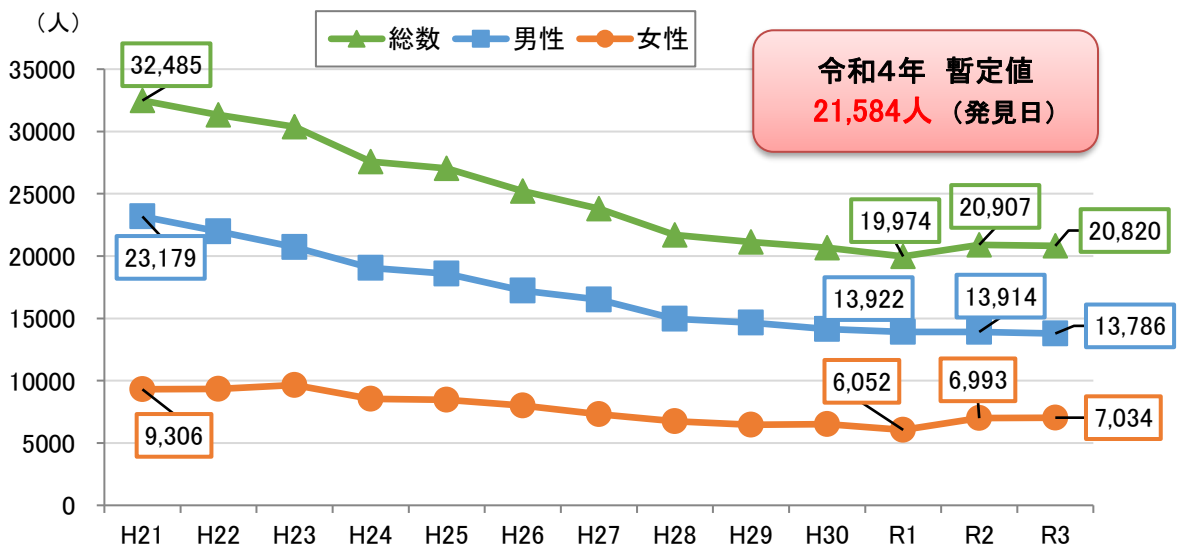


愛媛県地域自殺対策推進センター
(愛媛県心と体の健康センター内)

令和5年1月作成

1 全国と愛媛県の自殺者数

(1) 全国



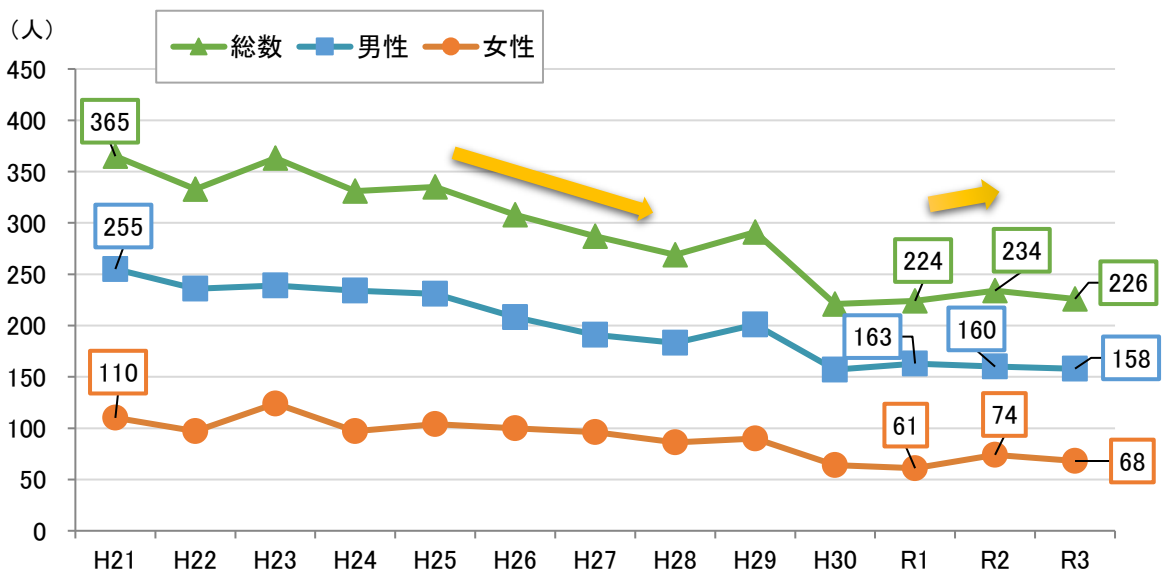
資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

○全国の自殺者数は減少傾向にあり令和元年は19,974人となっていましたでしたが、令和2年は11年ぶりに増加に転じ20,907人となり、令和3年は20,820人となりました。男女の割合はこれまでと同様、全体の3分の2を男性が占めていますが、令和2・3年は前年より男性が減少した一方で女性が増加しています。暫定値のため未確定の数値ではありますが、令和4年の全国の自殺者数は令和3年と比較して増加したと報じられています。

数値目標

全国(自殺総合対策大綱) 令和8年までに**1万6千人以下**
 愛媛県(第2次愛媛県自殺対策計画)令和5年度までに**175人**

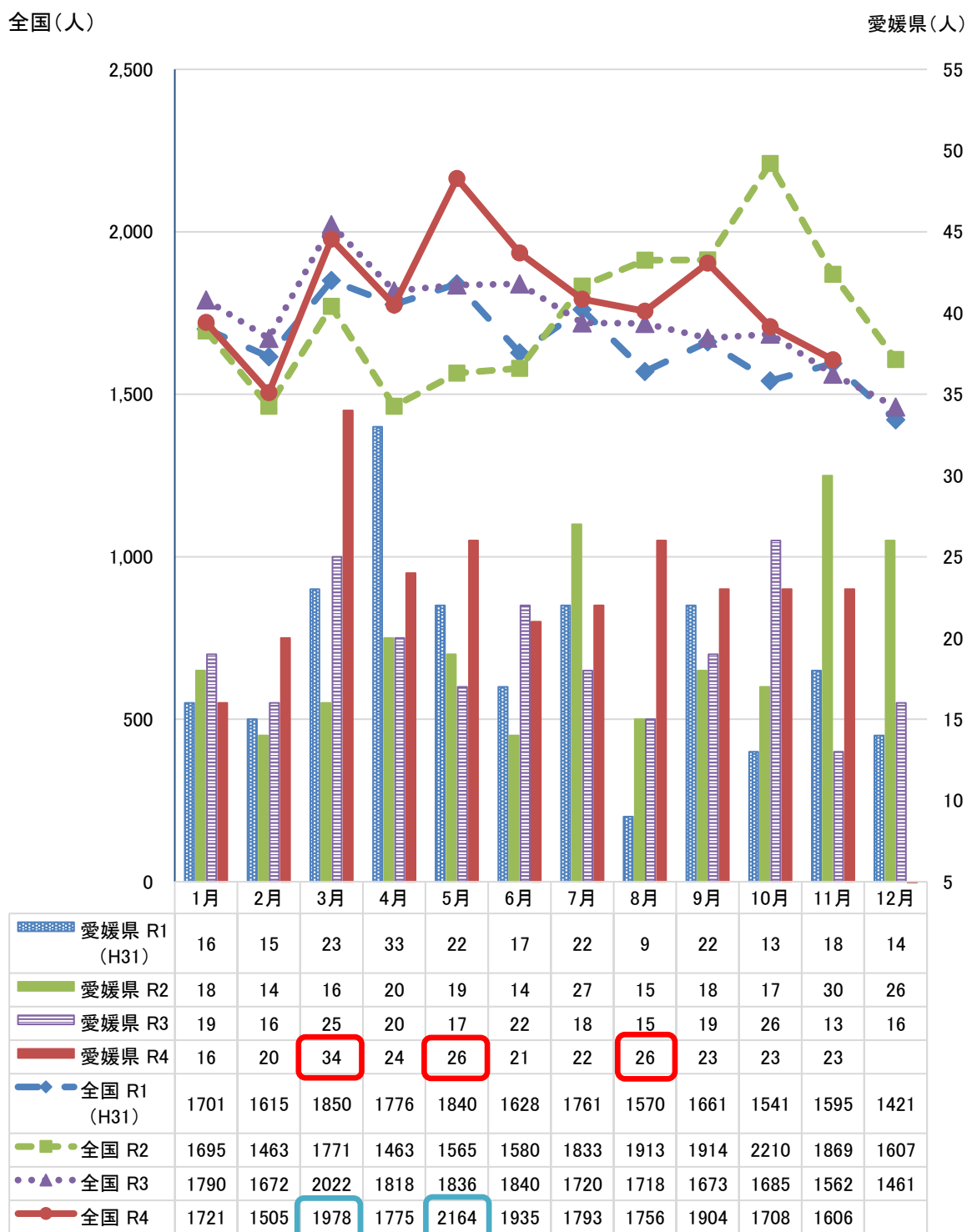
(2) 愛媛県



資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

○愛媛県の自殺者数は減少傾向にありましたが、令和元年・2年は前年より増加、令和3年は減少したものの、令和元年を上回り、総数226人、男性158人、女性68人となりました。圧倒的に男性が多い状況は変わらないものの、令和2年は女性が前年より13人増加しました。

2 全国と愛媛県の月別自殺者数



資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」各月確定値
R4は暫定値(11月末まで)

○令和4年は、暫定値ではありますが、全国・愛媛県ともに3月・5月の自殺者数が多くなっています。また、愛媛県では例年に比べ、8月の自殺者数が多くなりました。

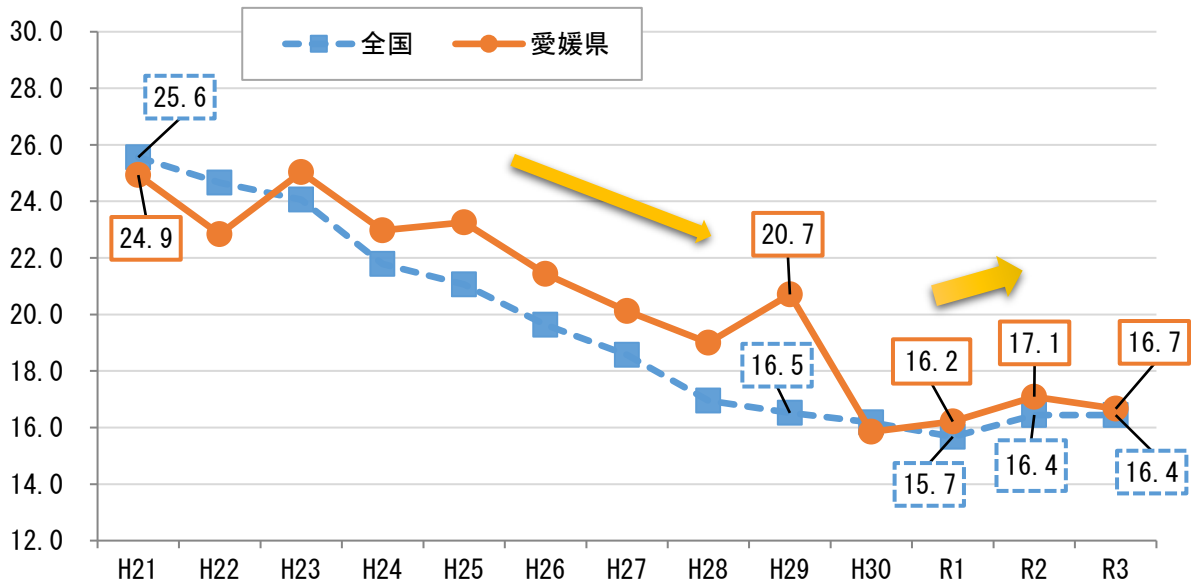
数値目標

全国(自殺総合対策大綱)令和8年までに **13.0 以下**

愛媛県(第2次愛媛県自殺対策計画)令和5年度までに **12.8 以下**

3 全国と愛媛県の自殺死亡率

(人口10万対)

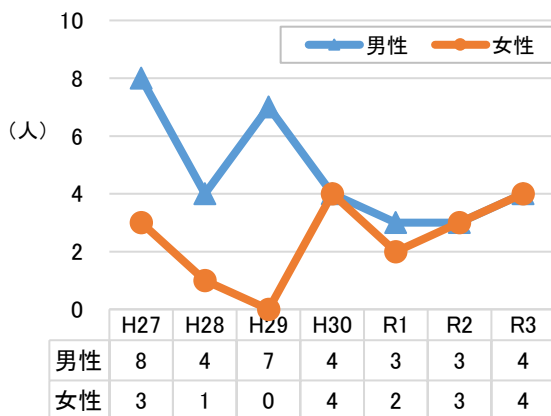


資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

○全国では、令和元年まで減少し以降は横ばいの状況です。愛媛県では、平成23年から平成29年の間、全国を上回っていましたが、平成30年以降、その差は縮小傾向にあります。全国、愛媛県ともに、令和2年は前年と比較して自殺死亡率が上昇しましたが、令和3年は全国は低下し、愛媛県は前年同値となっています。

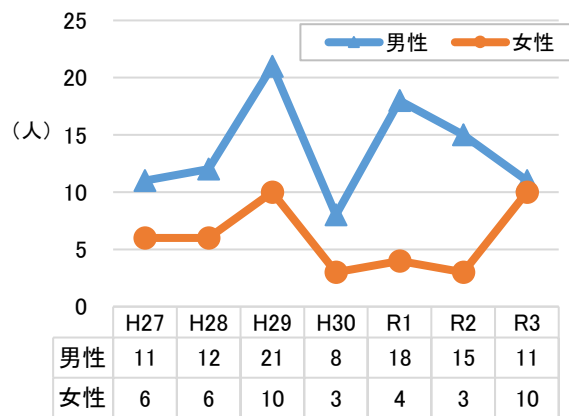
4 愛媛県の年齢階級別自殺者数

(1) 20歳未満



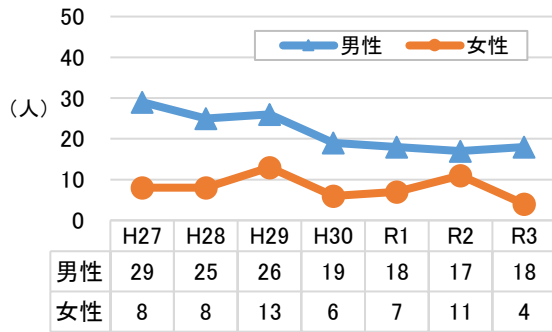
資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

(2) 20歳代



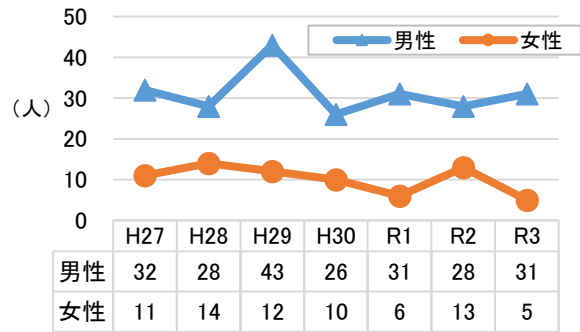
資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

(3) 30 歲代



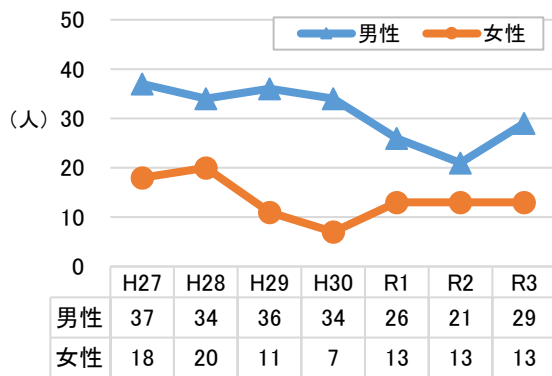
資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

(4) 40 歲代



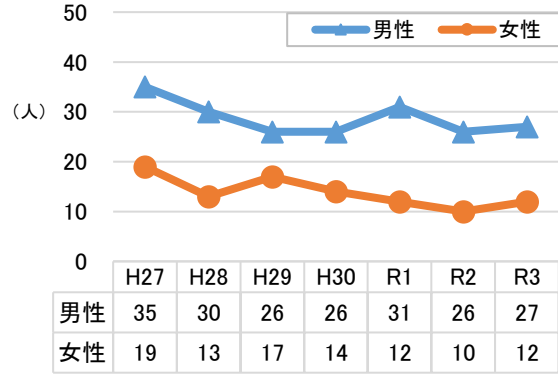
資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

(5) 50 歲代



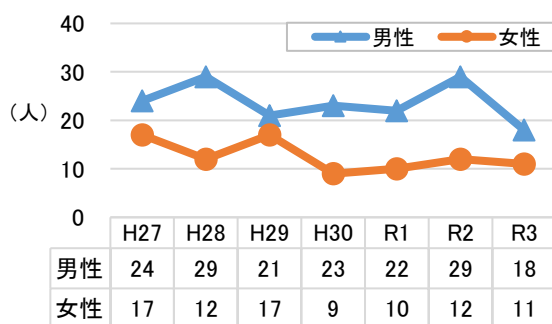
資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

(6) 60 歲代



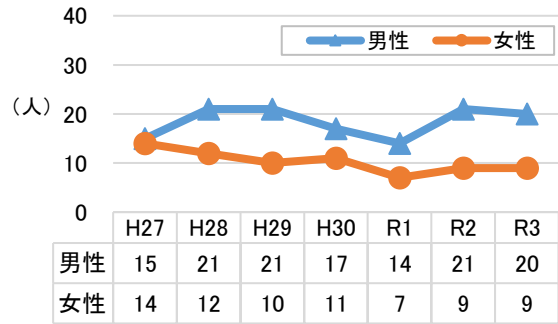
資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

(7) 70 歲代



資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

(8) 80 歲代以上

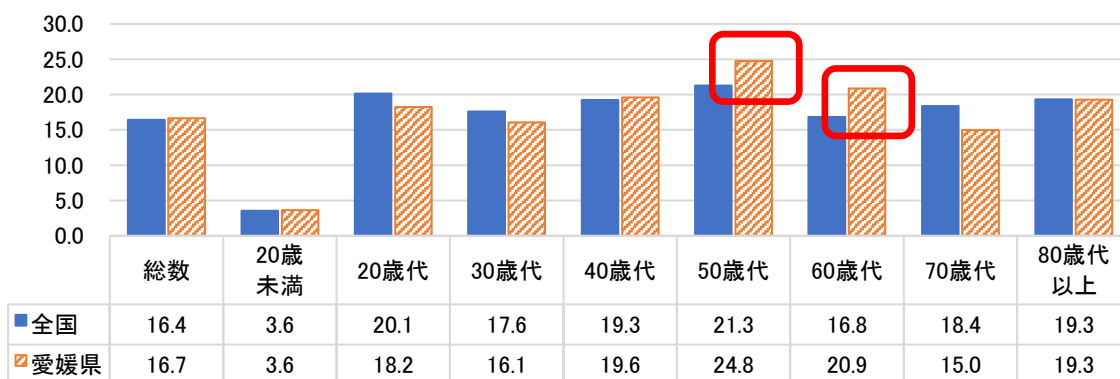


資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

5 令和3年 全国・愛媛県 年齢階級別自殺死亡率

(1) 総数

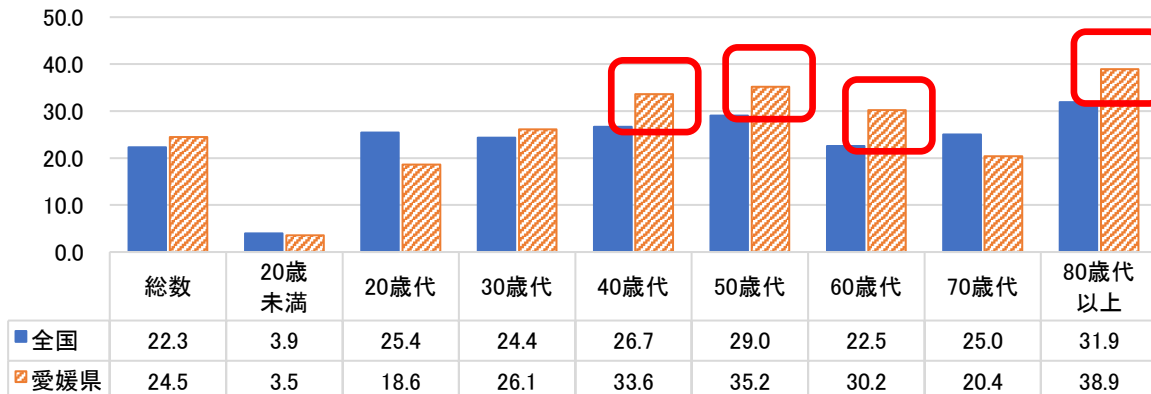
(人口10万対)



資料: 警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」、総人口(住民基本台帳)より算出

(2) 男性

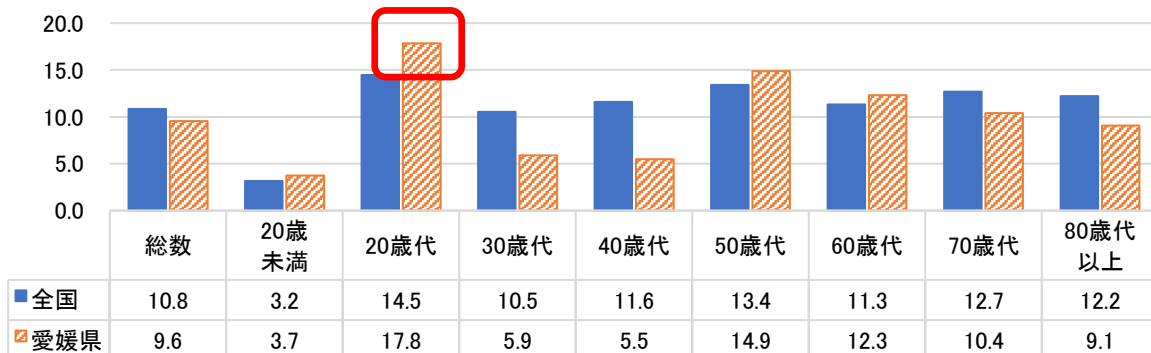
(人口10万対)



資料: 警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」、総人口(住民基本台帳)より算出

(3) 女性

(人口10万対)

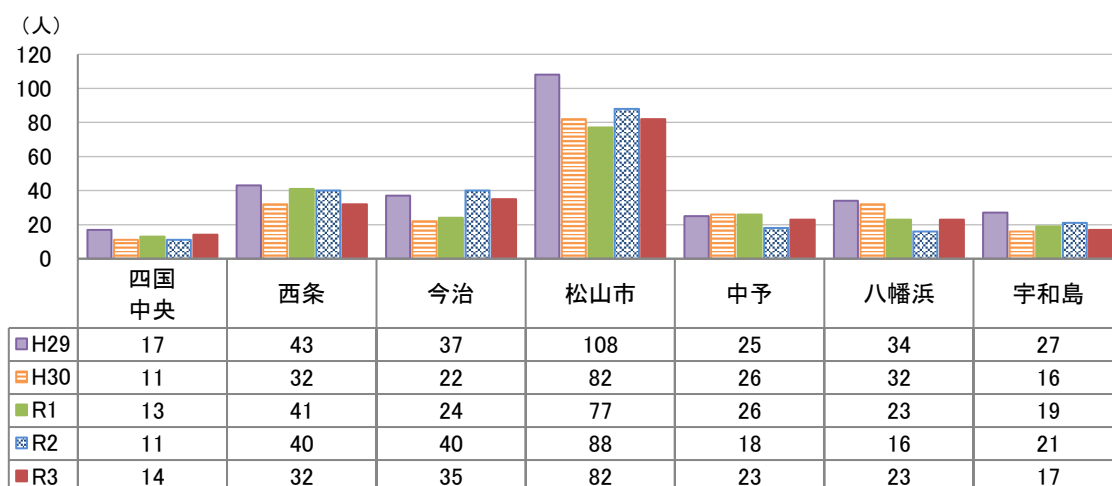


資料: 警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」、総人口(住民基本台帳)より算出

○令和3年の全国と愛媛県を比較すると、愛媛県は男性の40・50・60歳代、80歳代以上、女性の20歳代で全国より自殺死亡率が高い状況にありました。

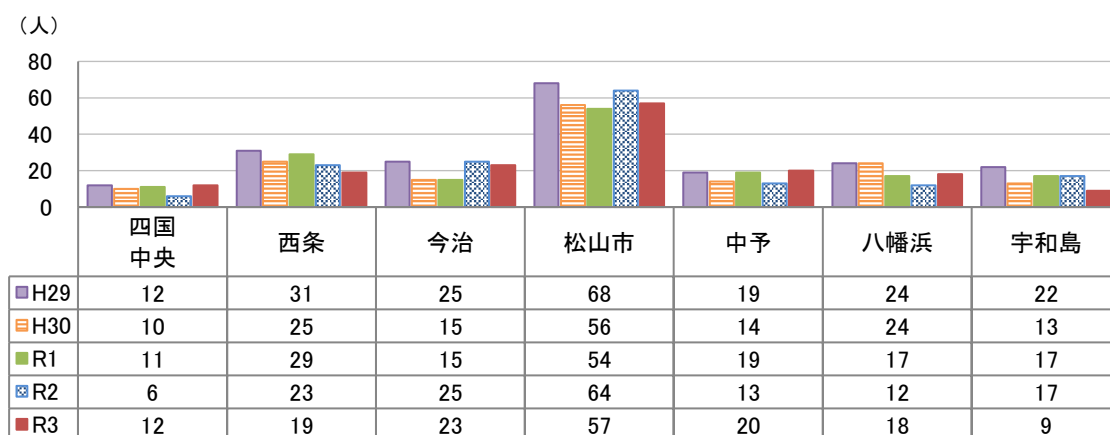
6 愛媛県内 管轄保健所別自殺死亡数

(1) 総数



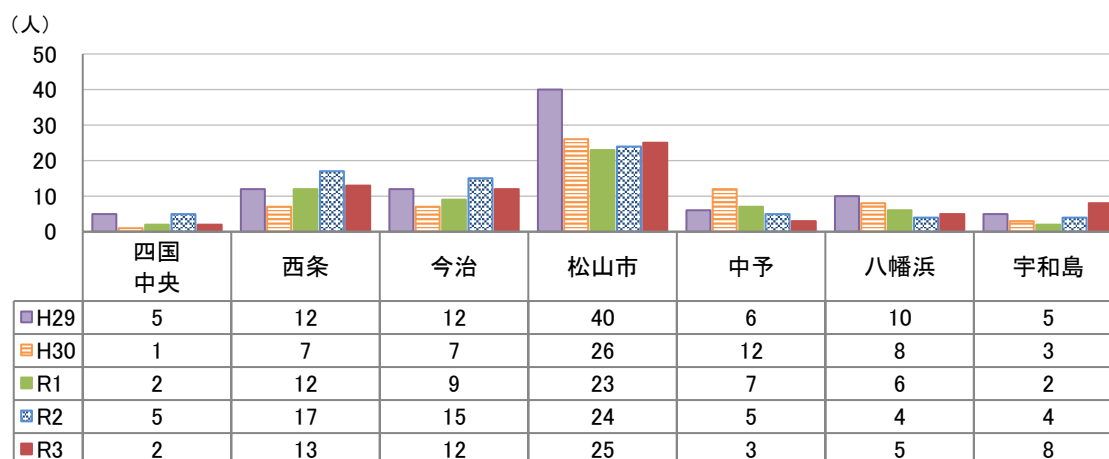
資料: 警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

(2) 男性



資料: 警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

(3) 女性



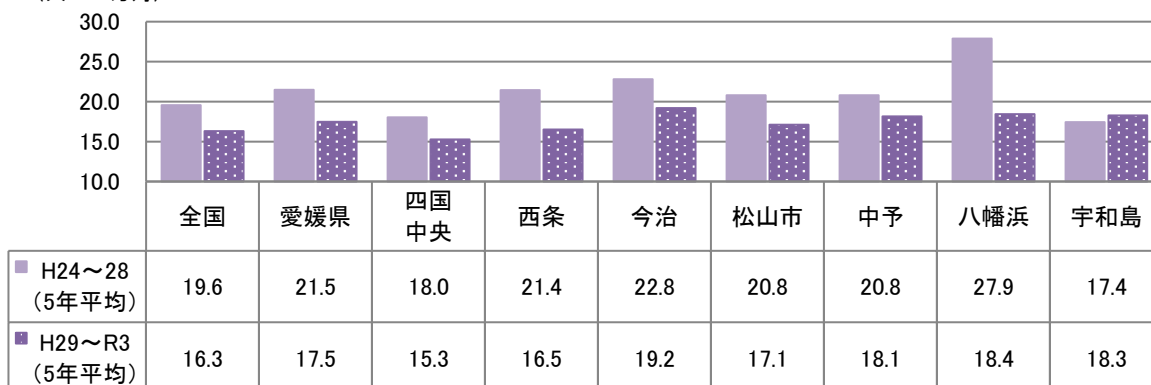
資料: 警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

7 愛媛県内 管轄保健所別自殺死亡率

(平成 24～28 年、平成 29～令和 3 年の 5 年平均)

(1) 総数

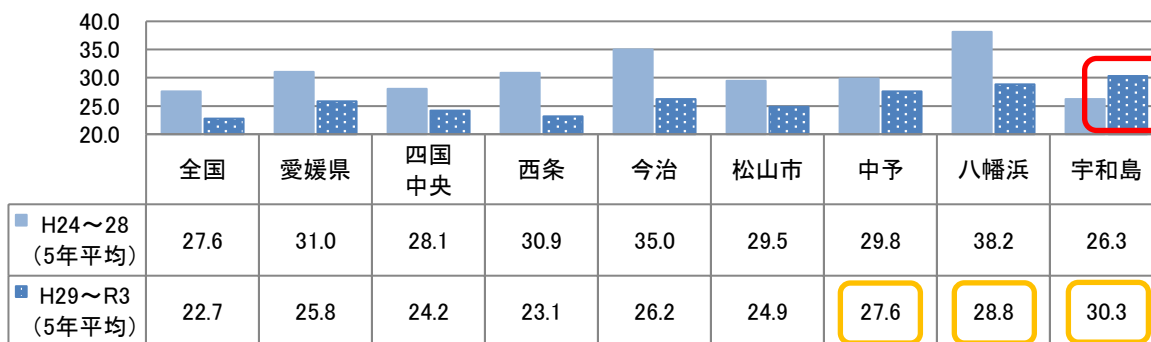
(人口10万対)



資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値、H24日本人人口・H25～R3総人口(住民基本台帳)より算出

(2) 男性

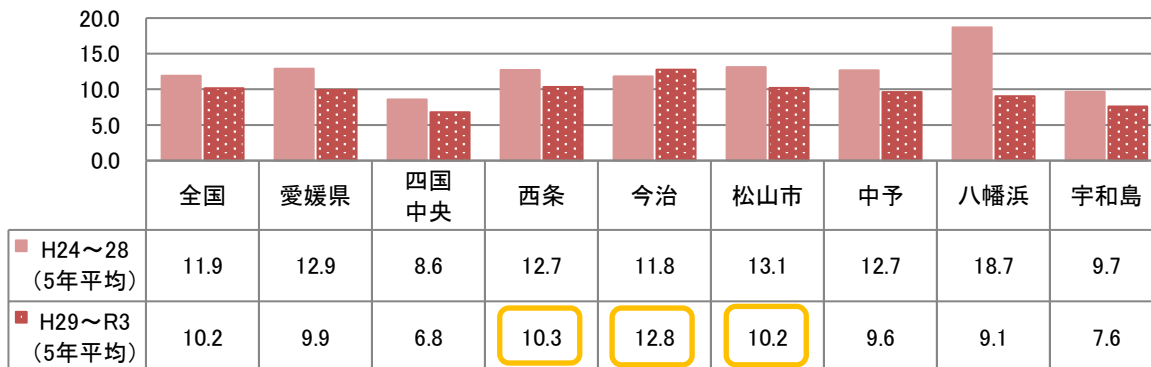
(人口10万対)



資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値、H24日本人人口・H25～R3総人口(住民基本台帳)より算出

(3) 女性

(人口10万対)

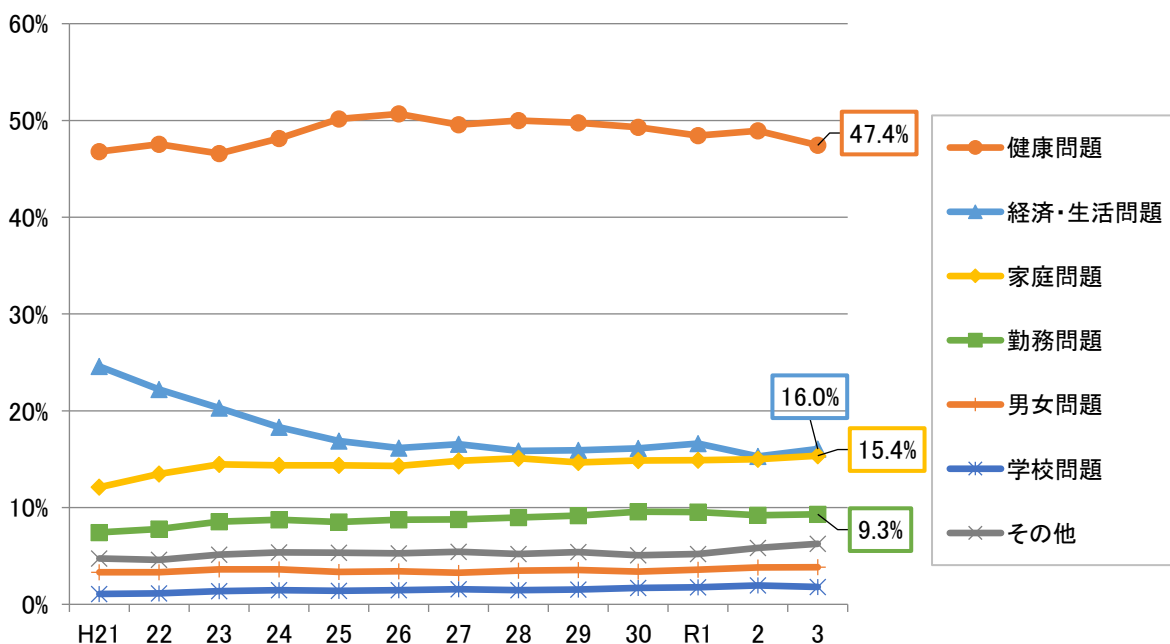


資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値、H24日本人人口・H25～R3総人口(住民基本台帳)より算出

○平成 29～令和 3 年(5 年平均)の管轄保健所別自殺死亡率は、男性が宇和島・八幡浜・中予の順で、女性が今治・西条・松山市の順で高くなっています。平成 24～28 年(5 年平均)と平成 29～令和 3 年(5 年平均)の管轄保健所別の自殺者死亡率を比較しますと、男性の宇和島、女性の今治で上昇がみられました。

8 全国・愛媛県 自殺者の原因・動機別構成比（総数） ※不詳を除く

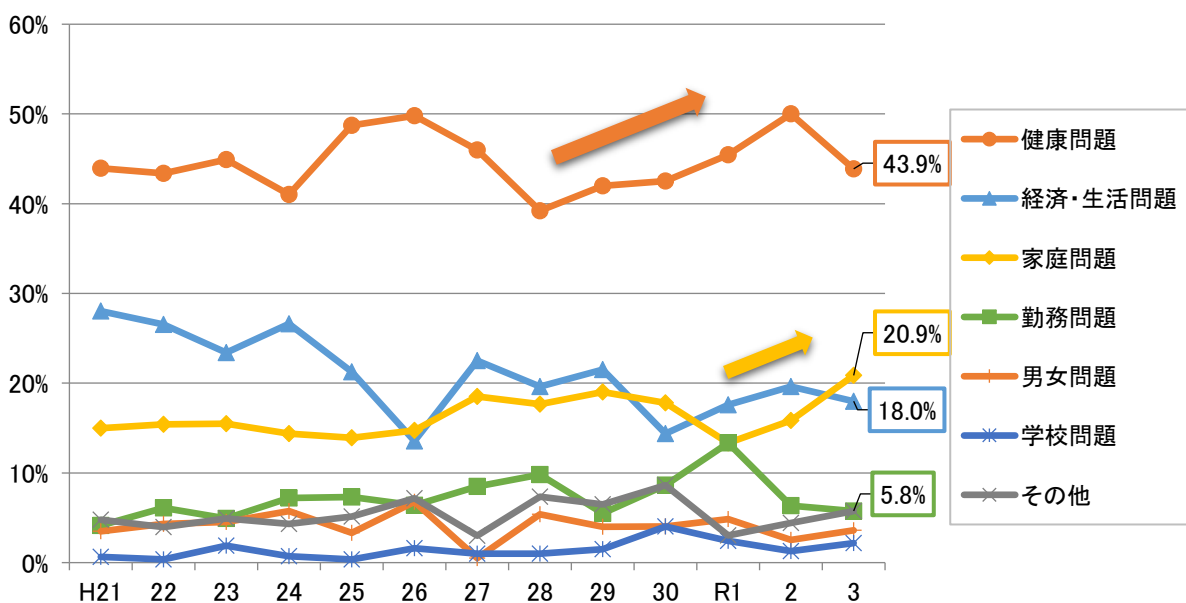
(1) 全国



資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

○自殺の原因・動機に係る集計は、遺書など自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上可能となっています。全国では、健康問題の占める割合が最も高く、次いで経済・生活問題、家庭問題、勤務問題となっており、大きな年次変化はみられません。

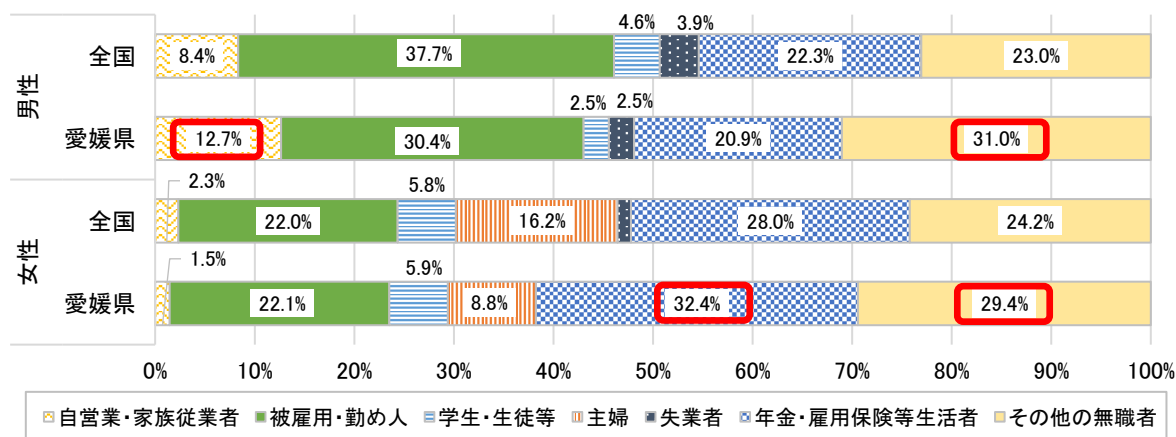
(2) 愛媛県



資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

○愛媛県においても、全国と同様に健康問題の占める割合が最も高い状況ではありますが、経済・生活問題、家庭問題の割合は全国より高い状況にあり、令和2～3年、家庭問題が増加し、健康問題に次ぐ割合となっています。

9 令和3年 全国・愛媛県 自殺者の職業別構成比（総数） ※不詳を除く

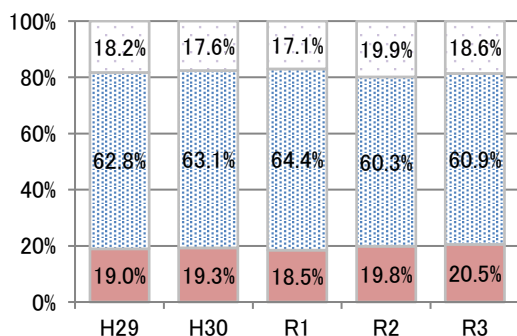


資料：警察庁「自殺統計（自殺日・住居地）」

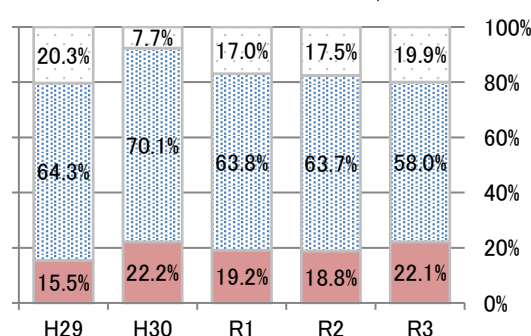
○全国と比べ愛媛県で割合が高いのは、男性で「自営業・家族従業者」及び「その他の無職者」、女性では「年金・雇用保険等生活者」及び「その他の無職者」となっています。

10 全国・愛媛県 自殺者の未遂歴の有無割合（総数）

(1) 全国



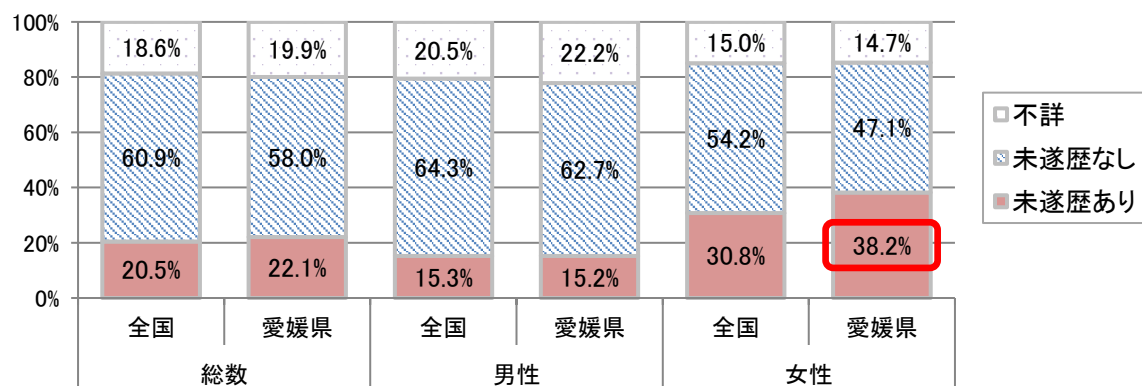
(2) 愛媛県



資料：警察庁「自殺統計（自殺日・住居地） 確定値

○全国では自殺者の20%程度に未遂歴があり、愛媛県においても年により比率の変動はありますが、概ね同じような傾向となっています。

11 令和3年 全国・愛媛県 男女別 自殺者の未遂歴の有無割合



資料：警察庁「自殺統計（自殺日・住居地）」

○令和3年愛媛県の未遂歴を全国と比較すると、女性の未遂歴ありの割合が高い状況にあります。

12 令和3年 愛媛県の年齢階級別死因順位

| 年齢階級 | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|--------|-------|-------|-------|
| 10歳代 | 自殺 | 不慮の事故 | 心疾患 |
| 20歳代 | 自殺 | 不慮の事故 | 心疾患 |
| 30歳代 | 自殺 | 悪性新生物 | 心疾患 |
| 40歳代 | 悪性新生物 | 心疾患 | 自殺 |
| 50歳代 | 悪性新生物 | 心疾患 | 自殺 |
| 60歳代 | 悪性新生物 | 心疾患 | 脳血管疾患 |
| 70歳代 | 悪性新生物 | 心疾患 | 脳血管疾患 |
| 80歳代以上 | 心疾患 | 悪性新生物 | 老衰 |

資料：人口動態統計

○愛媛県の年齢階級別の死因順位で10歳代、20歳代、30歳代において自殺が第1位となっており、40歳代・50歳代でも第3位となっています。